

## Dental Materials Senior Adviser 専門分野申請について

**Dental Materials Senior Adviser** では、専門分野を10種の大分類に分け、さらに各論に分類できるものについては中分類を設け、申請者の専門分野を明確にしています。申請に際して、申請者がどの専門分野を選択するのが適当か、参考までに、ここに選択の基準を示します。

### 1. 基本的な選択基準

学会称号認定制度規則 第1章 総則第1条の目的に照らし、申請者は専門分野を選択して下さい。

### 2. 10種の専門分野は分類として

大分類（1）はすべての歯科器材の基礎となる3つの基盤材料に関する専門分野となり、素材の基礎的研究や開発研究などを研究業績として記載された方が対象となります。

大分類（2）～（10）は、（1）の素材から製造される歯科器材の臨床応用を主とした専門分野が該当し、臨床関連の実験的研究、臨床の術式、経過、応用研究、安全性も含めた生物学的評価などを研究業績として記載された方が対象となります。

例えば、大分類（1）中分類③の「高分子」は、素材の研究、開発、改良を基礎的に研究する分野ですが、接着材の開発、改良など組成に関連する研究もこの分野に入ります。一方、接着の基礎研究や臨床研究などは、大分類（2）中分類②の接着・合着器材の項に該当します。また、高分子材料であるコンポジットレジンを対象とした研究でも、臨床研究、物性評価などは大分類（2）中分類①の審美歯科器材に入ります。

大分類	中分類
(1) 歯科材料基礎	①金属
	②無機
	③高分子
(2) 修復治療関連器材	①審美歯科器材
	②接着・合着器材
(3) 義歯関連器材	①義歯・メンテナンス器材
	②マウスガード
(4) 予防歯科関連器材	
(5) インプラント関連器材	
(6) 再生医療関連器材	
(7) 矯正治療関連器材	
(8) 歯内治療関連器材	
(9) その他の器材	①診療・教育用器材
	②歯科技工器材
	③レーザー
(10) 生物学的評価	

### 3. 各分野の選択基準

研究業績を参考とした分野別の概略は下記の通りです。なお、ご自身で該当分野が特定できない場合は、委員会で判断しますので、その旨お書き添え下さい。

#### (1) 歯科材料基礎

- ①**金属**：金属系材料の開発や基礎的研究など
- ②**無機**：セラミックス系材料の開発や基礎的研究など
- ③**高分子**：高分子系材料の開発や基礎的研究など

#### (2) 修復治療関連器材

- ①**審美歯科器材**：欠損補綴、保存修復、歯列矯正、漂白、ラミネート修復などに関連する材料や治療法の開発、改良、効果や使用法の検討、臨床応用研究など
- ②**接着・合着器材**：歯科用接着・合着器材の開発、改良、評価や臨床応用研究など

#### (3) 義歯関連器材

- ①**義歯・メンテナンス器材**：義歯およびそのメンテナンスに関連する器材の開発、改良、評価や臨床応用研究など
- ②**マウスガード**：マウスガード用材料と製作器材の使用法や効果の検討、臨床応用研究など

#### (4) 予防歯科関連器材：

予防用器材の開発、改良、効果や使用法の検討、臨床応用研究など

#### (5) インプラント関連器材：

インプラント材料の基礎的研究、開発、改良、臨床応用研究など

#### (6) 再生医療関連器材：

骨補填材、GBR 膜、担体材料（スキャホールド等）、細胞材料等の再生医学、再生歯学に関する基礎および臨床研究など

#### (7) 矯正治療関連器材：

矯正用材料、矯正治療装置等の開発、改良、臨床応用研究など

#### (8) 歯内治療関連器材：

根管治療用材料や器具、仮封材、裏層・覆髄材等に関する基礎および臨床研究など

#### (9) その他の器材：

- ①**診療・教育用器材**：他の項目に属さない診療用器材（教育用器材を含む）、データサイエンスやデジタル化に関する開発、改良、評価などに関連する全ての研究
- ②**歯科技工器材**：埋没材、鋳造材料、研磨材、CAD/CAM など技工関連器材の開発、改良、使用法の評価など
- ③**レーザー**：歯科用レーザーの基礎的研究、開発、改良、臨床応用研究など

#### (10) 生物学的評価：

In vitro および動物実験による生物学的な機能や安全性評価など